

2026年6月10日
株式会社みずほ銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社三井住友銀行

3行共同発行ステーブルコインの2026年度中の実取引の開始と 共同で検討を進めるための協議会の設置について

株式会社みずほ銀行（取締役頭取：加藤 勝彦）、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員：大澤正和）、株式会社三井住友銀行（頭取CEO：福留 朗裕）（以下、総称して「3行」）は、3行を共同委託者とし、信託銀行等を受託者とする信託契約に基づき発行するステーブルコイン（以下「本件ステーブルコイン」）の発行に関する実務的な協議を進めていますが、このたび、2026年度中の実取引の開始をめざして取組むことを決定しましたのでお知らせします。

このタイムラインで取組みを進める一環として、運営・ガバナンス等について共同で検討を進める協議会（以下「本協議会」）の設置に向けて基本合意しました。本協議会での議論を含め、取組みを加速させていきます。

1 背景

足許、ブロックチェーン技術を活用した決済高度化について、国内外でトークン化預金やステーブルコインの検討が活発化しています。斯かる中、昨年11月に金融庁「Fintech 実証実験ハブ・決済高度化プロジェクト（PIP）」の支援決定を受けた実証実験の取組みを通じて、3行共同で本件ステーブルコインの発行に関する実務的な協議を行っています。

2 本件ステーブルコインの実取引の開始（2026年度中）

今後、ステーブルコインが多様なユースケースにおいて活用される可能性を見据え、2026年度中の本件ステーブルコインを用いた実取引の開始をめざし、取組みを加速させていきます。

3 本協議会の位置づけ

本協議会は、本件ステーブルコインの発行基盤構築の可能性、制度設計、スキーム及びガバナンスの在り方等を検討するための枠組みです。3行は、今後、本協議会での議論等を通じて、本件ステーブルコインに関連して、関係法令や市場動向等も踏まえながら検討を深めていきます。また、将来的に参加を検討し得る金融機関・関係者との連携の在り方についても、検討していきます。

以上